



# 海上自衛隊

試験区分：一般職（技術）  
～ 海自防衛技官編 ～



ポイント1



ポイント4



## 海上自衛隊の任務

- ポイント1. 我が国の領域及び周辺海域の防衛
- ポイント2. 海上交通の安全の確保
- ポイント3. 防衛交流や国際協力
- ポイント4. 大規模災害など緊急事態への対応

ポイント2



ポイント3





航空機



管制塔

## 海自防衛技官 を目指す人への期待

### ・海自防衛技官は、

日本の海の安全を担う艦船・航空機・施設の  
取得・維持等について、技術面から支えています。

### ・海自防衛技官に期待されるものは、

製造メーカーとユーザーである海上自衛隊の部隊とともに、  
学部・学科で学んだ専門知識を活かして、  
技術面で艦船・航空機・施設の取得・維持等に貢献してほしい！



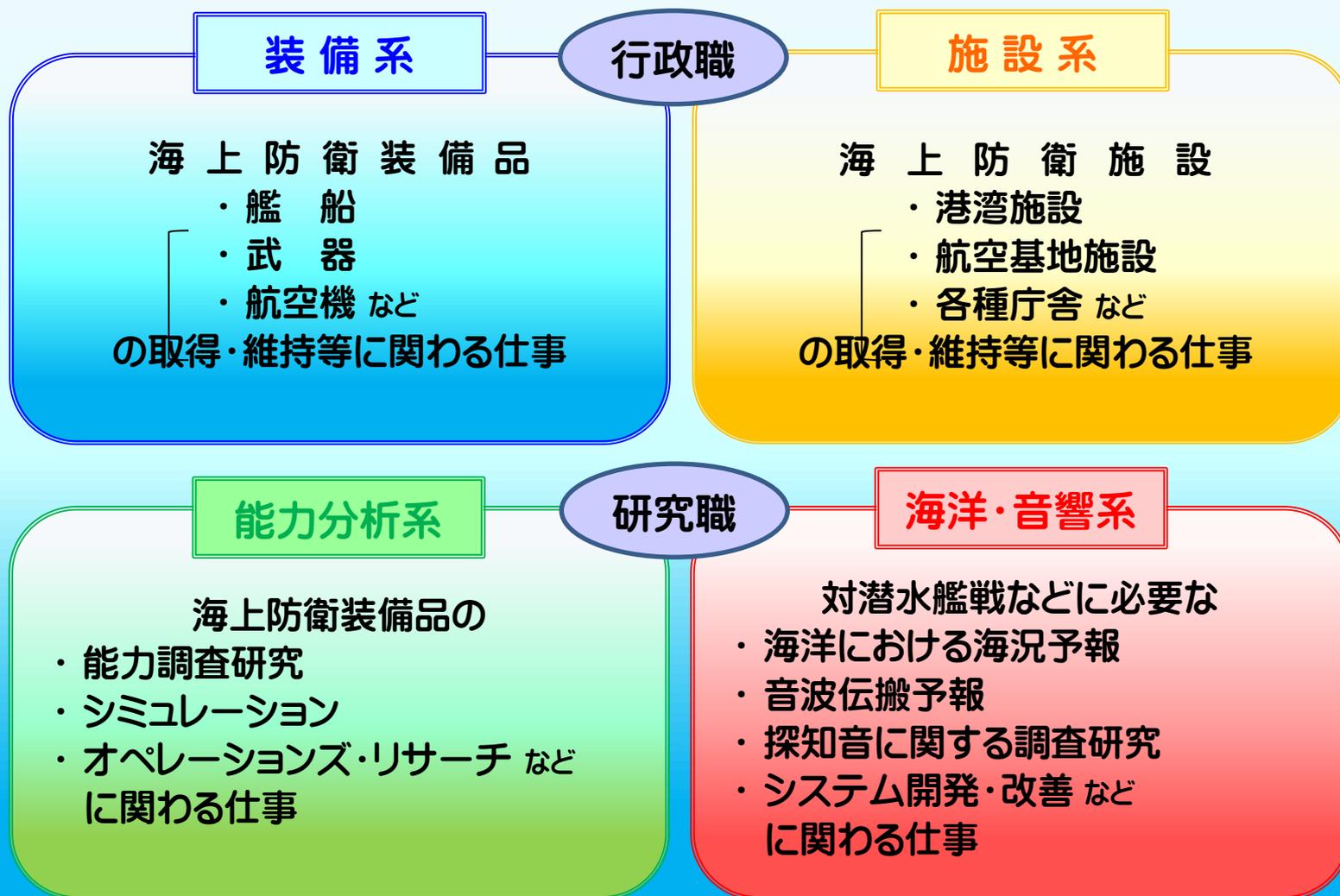
護衛艦



潜水艦

# 海自防衛技官の職種

海自防衛技官の職種は、大きく4つに分類されます。



この他、宇宙・サイバー・電磁波に関わる業務に従事することもあります。

# 海自防衛技官（装備系）

海自防衛技官（装備系）は、更に3つに分類され、艦船・武器・航空の分野で、その所掌する装備品の取得・維持等について、技術面で貢献しています。

## 装備系

### 艦 船

〔分野及び所掌装備品〕

- ・船体：船体構造
- ・機関：エンジン  
減速機構 など
- ・電気：発電機  
艦内電気設備 など



### 武 器

〔分野及び所掌装備品〕

- ・誘導武器：大砲  
射撃指揮装置 など
- ・水中武器：音響装置  
航海機器 など
- ・通信電子：通信ネットワーク  
レーダー など
- ・弾 薬：ミサイル、魚雷 など



### 航 空

〔分野及び所掌装備品〕

- ・機体・機器：機体構造  
エンジン など
- ・電子・武器：ソーナー  
レーダー  
武器発射装置 など



## 海自防衛技官（施設系）

海自防衛技官（施設系）は、港湾・航空基地などの取得・維持等について、技術面で貢献しています。



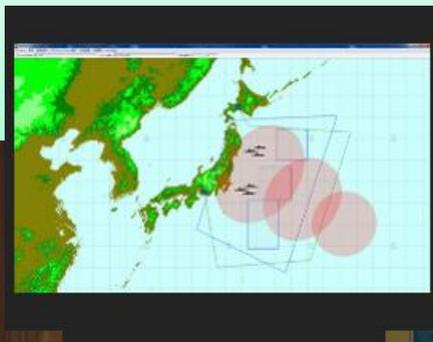
一般の施設と異なる特性を持つ  
「防衛施設」のライフサイクル全面に関与



## 海自防衛技官（能力分析系）

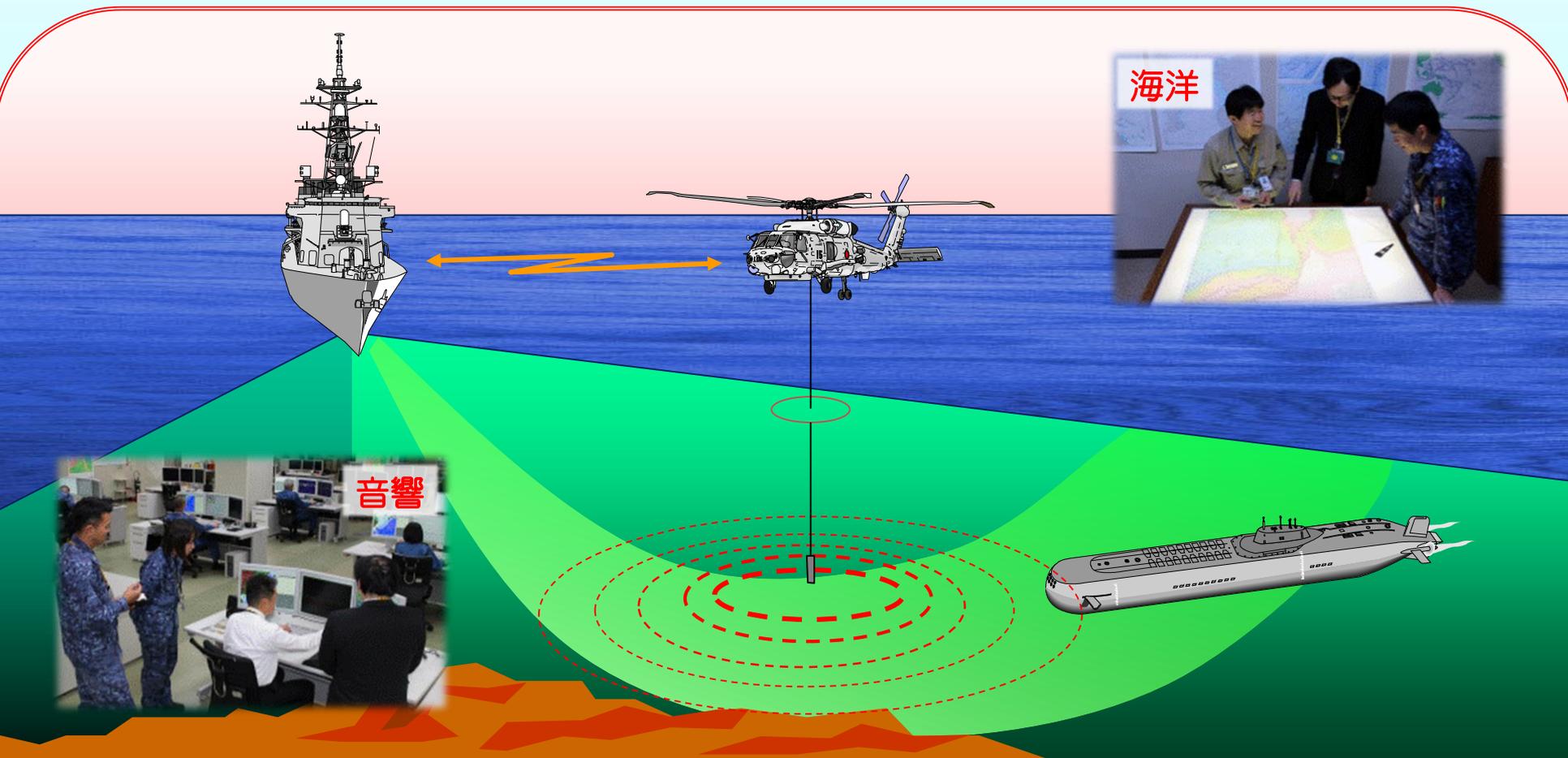
海自防衛技官（能力分析系）は、国内外の最新の防衛政策、軍事、装備技術の動向を把握し、オペレーションズ・リサーチを中心とする理工学の幅広い知識に基づいた数理的分析評価を実施し次の任務の実施に貢献しています。

- ・政策の企画・立案
- ・部隊の運用
- ・装備品の研究開発・維持運用 など



## 海自防衛技官（海洋・音響系）

海自防衛技官（海洋・音響系）は、研究職として、対潜水艦戦などに必要な海洋における海況予報（天気予報の海中版）や音波伝搬予報、及び護衛艦ソーナーなどで収集した探知音の解析・評価に関する調査研究、システム開発・改善等について、技術面で貢献しています。



# 海自防衛技官 & 事務官 (新領域)

防衛省・自衛隊として進めるべき防衛力の構築は、陸・海・空といった従来領域のみならず、宇宙・サイバー・電磁波といった全ての領域における能力を有機的に融合した“多次元統合防衛力”であると考えており、海上自衛隊としてもその機能の強化と能力向上に尽力しています。  
事務官や技官として採用された隊員も、希望や適性に応じて新領域で活躍する機会があります。

宇宙領域を活用した衛星通信 等

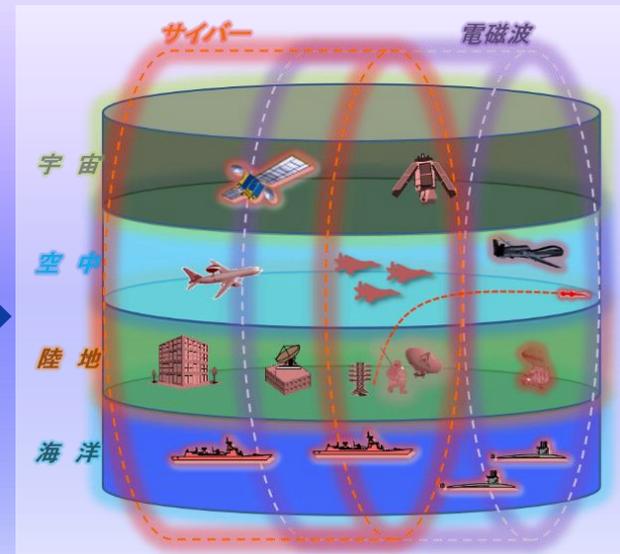


情報システムや装備品に係る  
サイバーセキュリティ 等



陸・海・空といった従来領域のみならず、  
全ての領域における能力を有機的に融合

電磁波に関する情報収集・分析 等



# 海自防衛技官の勤務部隊・機関など

職種によって、勤務する場所に違いがありますが、日本全国の部隊で、皆さんの技術力を生かし、経験を重ね、将来的には、中央機関等で技術面から海上防衛行政の一役を担ってまいります。



※2 主に、防衛技官(装備系)の勤務部隊・機関などを示しています。

防衛技官(施設系)は、海上幕僚監部、各地方総監部(※1-1と同地区)、航空基地管理隊(※1-2と同地区)などで勤務します。

防衛技官(能力分析系)は、海上幕僚監部、補給本部など関東地区で勤務します。

～初任研修修了風景～



海上自衛隊では、  
様々な研修・見学など  
教育も充実しています！



ぜひ、  
海上自衛隊へ！  
みなさんをお待ちしています！

～護衛艦見学風景～

